

議会基本条例に基づき町民の意見を聴き、議会活動や町政に反映させるため

PTA連合会との意見交換会を開催



PTA 役員12名 議員14名

6月28日(木)ひまわりプラザで18時から

6月28日に海田町PTA連合会との意見交換会をひまわりプラザで開催しました。

はじめに議会より過去に議員が町に対し要望し実現した事項と現在要望中の事項について説明、続いてPTAから町に提出した要望書について話を聞きました。

その後、自由な意見交換を行いました。

特に中学校給食についての話題が多く、中でも町が予定しているデリバリー方式への意見が出ました。このことについて関心の高さが伺えました。

いただいたご意見は、今後の議会活動に生かして参ります。また、町への要望については執行部に伝えました。

皆さまから寄せられたお便り

- 今、1才半の子どもがいます。海田町では“ネウボラ”に力を入れていて、子育てしやすいと感じます。よくひまわりプラザのつどいの広場へ行きました。職員の方々がとても親切で、たくさん相談にのって頂き、助かりました。1才の誕生日には素敵なプレゼントもあり、海田町で子供が産まれて本当に良かったなと思っています!!あと小児科が増えると嬉しいです。(30代 男性)
- 「議会だより」は毎号海田町の事が良くわかるので時間をかけて読ませて頂いています。この度の大雨災害で海田町も大きな被害にあって、今後の海田町の事をまた「議会だより」で教えて欲しいです。(女性)
- 大雨災害後、通常の2~3倍の量の自転車を誘導・管理して下さいのシルバーセンターの皆様、毎日暑い中ありがとうございます。どうか、熱中症にならないようにお体御自愛下さい。(30代 女性)
- 海田市駅の自転車使用料が来年から倍というのは困ります。せめて、回数券を作り、町民の負担を軽減するなど、工夫と配慮があっても良いかと思います。(30代 男性)
- 今年の豪雨災害は、瀬野川の水位も上がり、怖さを感じました。そんな中、ガラケーの私には、町内放送は大切な身近な情報源でした。(60代 女性)

※お便りありがとうございました。頂いたご要望につきましては、執行部にお伝えします。これからもどんどんお寄せください。お待ちしております。



災害に耐えられる堤防を！橋を！

前田 勝男 議員

平成30年7月豪雨



質問(議員) この度は、大変な大雨災害が発生した。畝地区では過去にも2度3度の災害が起きています。過去の災害で対策を取らなかったことに原因があると考える。砂防ダムの設置は当然だが、川幅や深さを1メートル位大きくし、橋の高さも最大流量水面よりも1メートル以上高くするよう抜本的に改良し、災害の発生をおさえることが必要と思うが、また、民地流入土砂はどうするのか。

Q 川幅や橋の高さを考えよ

A 被災原因を調査し耐える構造とする

質問(議員) 既存の橋の改良は困難だが、新たな架橋では改善される。今回の災害復旧にあたり原因を分析し耐える構造などを検討する。また砂防ダムの設置は、未被災地・被災箇所を合せ一体的に復旧を県に要望する。また宅地や農地への流入土砂は、土砂排除制度を作り、撤去する。

その他の質問

- 避難の伝達の仕方は
- 安全対策を

宗像 啓之 議員

都市計画道路



Q 引き続き新開蟹原線の延伸を

A 延伸部分は廃止の方向

質問(議員) 連立で整備する呉線沿いの道路、福祉センター前の道路、新開蟹原線を日下橋まで整備し、道路ネットワークの整備を。

答弁(町長) 町内全域の交通量推計で見直しを検討中。県道から日下橋まで(写真中・点線部分)は廃止の方向。

Q 豪雨災害の反省点は

質問(議員) 道路が冠水している中、備蓄品の搬送、災害協定に基づく支援物資の調達・配送は。豪雨の中、瀬野川を安全に渡橋できたのか。

答弁(町長) 冠水時は運搬できなかったが、全体的には問題なかった。災害協定については、おおむね順調だった。また、瀬野川の渡橋については、監視カメラなどで安全に配慮して通行した。



新開蟹原線を廃止しなければ道路網が完成